

## 第650回番組審議会報告

2020年7月7日開催

### ■出席委員

佐藤卓己委員長 佐藤友美子副委員長(書面参加) 今井美樹委員  
島田智委員 太平信恵委員 津村記久子委員 東野博昭委員 細見良行委員

### ■毎日放送出席者

三村社長 梅本専務 虫明常務 浜田取締役 高山取締役 磯澤取締役  
藪内取締役 奥田報道局長 池崎報道部長 渡ディレクター  
津田コンプライアンス室長 中西番組審議会事務局長

### ◆議事の概要

テレビ番組『緊急 SP 生!池上彰×山里亮太』(2020年5月31日(日)12:54~15:00放送)について意見交換した。

#### 【番組概要】

世界で猛威を振るう新型コロナウイルス。「ニューノーマル」と言われ経済や社会構造が大きな変化を迫られる事態に私たちはどう向き合うのか、池上彰さんが2時間の生放送でわかりやすく解説する。

#### 【各委員の主な意見は次の通り】

- \* ラジオの深夜番組を聞いているような感じで面白かった。ラジオスタジオで先生の前に二人だけ生徒がいるスタイルはリモート形式になると番組としても得している感じがする。
- \* 番組全体の構成は3部構成というのが非常に明確によく分かれていて、構成がきちんとできていた。池上さんは2時間自分の知識をあふれ出して進行をするのはさすが。吉村知事のインタビューは池上さんらしくズバッと聞いていた。フリップの説明はアシスタントに読んでもらってもいいのでは。
- \* 物知りおじさんが教えてあげる時代はもう終わっているのではないか。これからは物知りではなくて物を考える人の時代が求められていると思う。
- \* 山里さんはすごく聞き上手で頭の回転が速く、レスポンスの切り返しがすごい。いいコンビだと思う。視聴者からの質問コーナーで子どもの思いつきそうな素朴な疑

間を取り上げたのは妙案だと思う。

- \* 上海からの中継は取ってつけたような気がして、このコーナーは必要だったかなという疑問が残った。2,000通も質問が来ていたのならそちらにもう少し答えてあげたらよかったのでは。メールがたくさん紹介されたが、例えば送ってくれた人の自撮り写真などつけ加えられなかったか。
- \* 小学校の校長先生は、「子どもが来るのがとにかく楽しみ」という言葉に実感がこもっていた。非常にいい先生で今後継続的に取材して、この小学校がどうなったか教えてほしい。
- \* 大久保さんと山里さんが池上さんに「ワクチンって何？」と振られた時のうそっぽいやり取りはいいと思う。吉村知事の対応が早かったと持ち上げるような感じは見ていてあまりいい気がしなかった。
- \* コロナウイルスに関して必要なことはインターネットで知っているので実践的な部分がありませんでした。自分の周りとか自分自身のコロナウイルスに対する体感とテレビが提案してくる体感が全然違って、論点が庶民のものじゃなかったような気がする。
- \* ニュー・ノーマルで新しいスタンダードを作っていく時代にメールを紙で紹介するやり方は違和感がある。そのままテロップに流し込んで出すとかやりようはあったのでは。これからどういう形でテレビの画面を作っていくか革新的な部分を見せてほしい。

#### 【番組制作者側の説明、質問への回答】

- \* 池上さんの番組はたくさん他局でもある中で、違いを出すために生放送とラジオスタジオを使うことにした。説明を段取りよく進めるのではなく、トーク中心でラジオのような番組にしたいということにこだわった。
- \* ワクチンをめぐるやりとりはどうかと思った部分だった。自撮り写真を付け加えることについては生放送の時間の制約があるがなるほどと思った。考えることが重要だという指摘についても、確かに見ている人にも考えさせるような番組を作っていかなければならないと痛感した。
- \* コロナで番組の作り方や画面の構成がいろいろ変わっているが、リモートを不便だ

と感ずるのではなくそれを今後どう生かしていくのか発展させる方法を考えていきたい。

以上